



知識基盤社会と言われる21世紀の今、社会との連携の中で、従来の知識偏重の教育目標に加えて、新たに知識を活用するコンピテンシーの育成が急務となった。その結果、アクティブ・ラーニングやパフォーマンス評価など、従来の教育方法や学習評価の枠組みを超える新たな価値の導入が図られている。本学教学IRでは、関西大学ならではのキーコンピテンシーを策定し、様々な教育プログラムを通じてそれらの育成にあたっており、今、その学習評価の枠組みについて検討を重ねているところである。

そこで今回、教学IRおよび併設校を含めた関西大学全体でこのコンピテンシーへの理解とその育成方法、評価枠組みについて情報共有するため、松下佳代先生には「新しい能力」と学習評価の枠組みについて、また黒上晴夫先生には、先進事例である関西大学初等部における思考力育成について、それぞれ知見をご提供いただく。

日時

2016年

6月27日 月 17:00-20:00

場所

関西大学 千里山キャンパス 第2学舎4号館 F402教室

講師

松下佳代 氏 (京都大学高等教育研究開発推進センター教授)

黒上晴夫 氏 (関西大学総合情報学部教授)

スケジュール

17:00-17:05 開会挨拶・趣旨説明 森 朋子 (関西大学教育推進部教授)

17:05-18:05 講演①松下佳代 氏 「『新しい能力』について」(仮題)

18:05-19:05 講演②黒上晴夫 氏 「ミューズ学習の思考力について」(仮題)

19:05-19:50 パネルディスカッション

(ファシリテーター:森 朋子、パネラー:松下佳代 氏、黒上晴夫 氏)

19:50-20:00 閉会挨拶 林 宏昭 (関西大学教育推進部長・教学IRプロジェクト長)

20:00 閉会

申込方法

下記URLの申込フォームから、**6月23日(木)まで**にお申込ください。

<http://www.kansai-u.ac.jp/ctl/>

先着順の受付となります。お申し込み多数の場合は、受付を締め切ることもございますので、お早目にお申込ください。

お問い合わせ

関西大学 学事局 授業支援グループ

担当:竹中・土井・土谷 E-mail: ap-info@ml.kandai.jp

「21世紀を生き抜く『新しい能力』を育む教育とその評価」

大学教育再生加速プログラム アクティブ・ラーニングセミナー

